

## 平成29年度における温室効果ガスの排出状況

平成20年6月に策定した津別町地球温暖化対策実行計画の削減目標を達成するため、本計画書に基づき平成20年度から平成24年度までの5年間の第1期、平成25年度から平成29年度までを第2期として、基準年度（平成18年度）と比較して温室効果ガス排出量18%削減を目標として、町民サービスの質の低下を与えない範囲で照明、OA機器、暖房、公用車等の電気や燃料等の使用抑制を実践してきたところであります。

平成29年度における燃料等の使用量や温室効果ガスの排出量については表2のとおりですが、電気の使用量は、前年より増加する結果となりましたが、一部の施設において管理の徹底ができなかったことに起因するもので、役場庁舎や関連施設では減少しており節電への意識向上が成果として表れています。ガソリン使用量が目標値より増えている対策として、ハイブリット車等のエコカーへの更新を図っているほか、ペレットボイラーの稼動によるA重油の削減効果が大きく、道路維持管理の民間委託等による軽油の削減も大きな要因となっており、温室効果ガス削減は平成18年度と平成29年度との対比で44.7%減となりました。

表1. 平成18年度温室効果ガスの項目別排出量（基準年度）

使用区分	使用量	排出換算係数	二酸化炭素換算排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	割合
ガソリン	21,507 L	2.32	49,896	1.4%
軽油	200,109 L	2.62	524,286	15.3%
灯油	174,735 L	2.49	435,090	12.7%
A重油	366,950 L	2.71	994,435	28.9%
LPG	4,586 m <sup>3</sup>	3.00	13,758	0.4%
電気	2,534,498 kWh	0.56	1,419,319	41.3%
合計	—	—	3,436,784	100.0%

表2. 平成29年度温室効果ガスの項目別排出量

使用区分	使用量	排出換算係数	二酸化炭素換算排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	割合
ガソリン	31,999 L	2.32	74,238	3.9%
軽油	40,885 L	2.58	105,483	5.6%
灯油	102,303 L	2.49	254,734	13.4%
A重油	89,500 L	2.71	242,545	12.8%
LPG	1,544 m <sup>3</sup>	3.00	4,632	0.2%
電気	1,904,404 kWh	0.64	1,218,819	64.1%
合計	—	—	1,900,451	100.0%

表 3. 温室効果ガスの項目別排出量対比

使用区分	二酸化炭素換算排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )			対比 (H29/H18)
	平成18年度	平成29年度	削減量 (△は増加)	
ガソリン	49,896	74,238	△24,342	148.8%
軽油	524,286	105,483	418,803	20.1%
灯油	435,090	254,734	180,356	58.5%
A重油	994,435	242,545	751,890	24.4%
LPG	13,758	4,632	9,126	33.7%
電気	1,419,319	1,218,819	200,500	85.9%
合計	3,436,784	1,900,451	1,536,333	55.3%

《参考》

平成20年度排出量	3,267,073 kg-CO <sub>2</sub>	(H18年比 △4.9%)
平成21年度排出量	2,995,042 kg-CO <sub>2</sub>	(H18年比 △12.9%)
平成22年度排出量	2,413,956 kg-CO <sub>2</sub>	(H18年比 △29.8%)
平成23年度排出量	2,745,262 kg-CO <sub>2</sub>	(H18年比 △20.1%)
平成24年度排出量	2,580,512 kg-CO <sub>2</sub>	(H18年比 △24.9%)
平成25年度排出量	2,240,314 kg-CO <sub>2</sub>	(H18年比 △34.8%)
平成26年度排出量	2,458,619 kg-CO <sub>2</sub>	(H18年比 △28.5%)
平成27年度排出量	2,246,990 kg-CO <sub>2</sub>	(H18年比 △34.6%)
平成28年度排出量	2,042,853 kg-CO <sub>2</sub>	(H18年比 △40.6%)
平成29年度排出量	1,900,451 kg-CO <sub>2</sub>	(H18年比 △44.7%)